

「台湾フィールド・ワーク 2024（16 日間）」募集要項

1. 趣旨

2017 年 10 月 1 日に台湾教育部(文科省に相当)と九州大学が共同で開設した台湾スタディーズ・プロジェクトの一環で行っている授業での知識を元に、現地でのフィールドワークを行う。

2. 応募資格、募集人数

九州大学の正規課程の学部生、院生で、台湾の文化、政治、歴史、人権、民主主義等に興味があり、台湾に関する論文を執筆予定、もしくは執筆中で現地フィールドワーク調査を必要とするものを 2 名程度募集する。

3. 派遣先大学及び派遣先機関(予定)

【台湾、台北市など】

フィールドワークは各自論文執筆に必要なフィールドワークアレンジに従い行動する。

※16 日間、各自のフィールドでの資料収集にあたるが、何か問題がある場合は中央研究院に滞在している教員に適宜指示を仰ぐ。

4. 日程 2025 年 3 月 1 日(金)～3 月 16 日(日)(15 泊 16 日)

5. スケジュールと研修内容(16 日間)

3/1(土)	午前:福岡空港国際線ロビー集合 福岡空港から台北へ。(約2時間) 午後:台湾滞在中における注意事項などを確認するワークショップ 滞在中の携帯電話番号などの確保など。	[台北泊]
3/2(日) -3/15 (土)	各自のフィールドワーク先へ移動。 関係者に挨拶をして各自資料収集、聞き取り調査を行う。	
3/16(日)	昼食後、桃園空港へ移動。 夕方の便で桃園空港から福岡へ。(約2時間) 福岡空港到着後、空港で解散。	

6. 大学の支援内容と自己負担内容

フィールドワーク(全 16 日間)でかかる費用(交通費、宿泊費等)はフィールドワーク先によります。宿泊場所は、大学のゲストハウスもしくはホテルを予定。基本、現地での行動は学生自身で行うものとする。なお、海外旅行保険は、学研災付帯海外留学保険(略称:付帯海学)に必ず加入しなければならない。加入方法は、派遣候補者決定後に参加申請書記載の E-mail アドレス宛に通知する。

7. 申請方法と期限

➤ 申請期間: 2025年1月6日(月)～1月15日(水) (①と②の提出期限)

➤ 申請書類:

① 「台湾フィールド・ワーク 参加申請書」

② 「台湾フィールド・ワーク 志望理由書」

➤ 申請方法

上記書類を台湾スタディーズ・プログラム(台湾 SP) (kyudaitaiwanstudies@gmail.com) に提出。

8. 選考

「参加申請書」、「志望理由書」をベースに選考の上、派遣候補者を決定する。なお必要に応じて面接を行なう場合がある。選考結果は締め切り後数日以内に参加申請書記載の E-mail アドレス宛に通知する。

9. 事前学習

台湾 SP 関連の授業を受けていない学生に関しては、フィールドワークの前に台湾関連授業をできるだけ受けること(履修もしくは聴講)。参加予定の学生は後日日時を設定する事前個別面談(オンラインもしくは対面)を義務付ける。フィールドワーク先に関しては、担当教員と先に話し合い計画を立てること。

10. 単位認定

本事業「台湾フィールド・ワーク」は、教育学部専攻教育科目の「Overseas Fieldwork II (1 単位)」として単位認定を行う。なお、学部一年生が参加した場合の単位認定は行わないものとする。

また、本事業により認定された単位を自身の卒業要件の単位に含めることができるかどうか不明な場合は、各自で所属する学部の教務担当係に確認すること。

11. その他

台湾 SP 関連の授業を受けていない学生に関しては、フィールドワークの前に台湾関連授業をできるだけ受けること(履修もしくは聴講)。参加予定の学生は後日日時を設定する事前個別面談(オンラインもしくは対面)を義務付ける。フィールドワーク先に関しては、担当教員と先に話し合い計画を立てること。

申請書の記入がわからない場合、参加に際しての心配事などがある場合などに対して事前の相談用オフィスアワーを設けるので、前原までメールでアポイントメントを取ること。

(maehara.shiho.030@m.kyushu-u.ac.jp)

受け入れ先にすでに面識がある場合は各自、宿泊先の確保などを含めて手続きを進める。受け入れ先に心当たりがない場合は、担当教員と相談しながら訪問先を選定して実習計画をたてる。

現地で大学や現地関係者の指示や約束に従わずに起こった事件・事故に関しては、一切責任を負うことができません。

12.奨学金

審査や諸条件により、JASSO の奨学金に応募可能。(問い合わせ要)

13.提出先・問い合わせ先

「台湾フィールド・ワーク 2024」全般について

台湾スタディーズ・プログラム(台湾 SP)担当 前原志保: (maehara.shiho.030@m.kyushu-u.ac.jp)